



導入前



導入後



重量ラックを導入し
作業スペースを
確保することにより
作業効率が向上



コンテナヤードで真価を発揮するジェネオE。狭いコンテナ内ではより安全な作業が要求される。OPS機能によりオペレーターが離籍した場合には動力走行を停止。壁に挟まれるなどの事故防止に貢献。



搬送される折りたたみ式のメッシュボックスパレットは使用後、まとめて中国に送られ新たな部品を積んで戻ってくるため包装材の削減、開梱作業の簡素化に貢献。



周回しながらのピッキング作業。作業簡素化により生産性が大幅に向上。

「自動倉庫を入れる」つもりが...

A様は工業界で広く使われているマレブバルブをはじめ、高温高圧に耐え得る鋳鋼弁・鍛鋼弁、都市ガスやLPG配管に適したガス用バルブなど、多種多様なバルブを製造しています。また中国企業6社を技術指導し、品質を国内製品と変わらぬ水準にまで引き上げ、中国からOEM製品の輸入量が増えてきました。そのため工場敷地は広いが平積みで場所を取り、「どこに何があるか」は担当者の記憶次第。この状況に「自動倉庫を導入するしかない」と判断し、トヨタL&Fに見積りの依頼をしました。

トヨタL&Fの専門スタッフが工場を入念に調査して出した結論は、資本投下しなくても「各工程の整理整頓で充分」というものでした。

社員一丸となって改善に取り組む

過剰な投資はさせずに、「現場の最適」を追及する姿勢に驚き「根本からやり直さなければ」と積極的に改善に乗り出しました。まず、豊田工業商貿(中国)有限公司*1と協力し、中国企業6社からのOEM商品の入荷方法を改善。これまで各企業が単独で出荷していたのを止め、各企業を周回して製品を集め同じ船で出荷するミルクラン方式、さらに納入回数も月1~2回から毎週に増やし、在庫を減らしました。「保管」に関しては

出荷実績と生産リードタイムから基準在庫量を設定。さらに出荷頻度に応じた重量ラック、軽中量ラックの使い分けや、ピッキングゾーンとリザーブゾーンの明確化、ロケーション管理の導入など、トヨタL&Fのノウハウを最大限に採用しました。「生産」では従来、過剰在庫や欠品の原因であった見込み生産を改め、出荷実績に基づく後補充生産の仕組みを採り入れるため「かんぱん」方式を導入。こうして社員が一丸となり数ヶ月にわたって取り組み、見違えるような物流改善を実現しました。

すぐに表れた改善効果

改善の結果、「適正在庫管理を維持する仕組みの確立」「作業効率の向上」「目で見える管理」などの効果が表れ、工場で働く人も「とても作業しやすくなった」と喜んでいます。「従来とは部分的に作業内容が変わるため、安全面も重視したいと考えていたがOPS*2機能を装備したフォークリフトを導入でき、不安も解消した。トヨタL&Fさんとは今後も改善パートナーとしてつきあっていきたい」と嬉しさが伝わってくる結びでした。

*1 豊田工業商貿(中国)有限公司輸出入、中国国内物流、物流センター運営業務を担当。
(株式会社豊田自動織機100%出資)

*2 OPS……Operator Presence Sensing

導入商品



メッシュボックス
パレット



Partner Rack
重量ラック



Partner Rack
軽・中量ラック



ユニエレカ
積載タイプ



GENEO-R



Ecore